SHUTTER GUARD

Shutter Guard prevents the shutter from wind dameges, when the storm comes

2007-2008 GOOD DESIGN グッドデザイン賞受賞

取付けカンタン！ほとんどの手動式軽量シャッターに！

軽いから女性でもらくらく！

シンプルですっきりデザイン！

簡単設置で驚きの強度！

横幅2~3mの手動式軽量シャッターに！

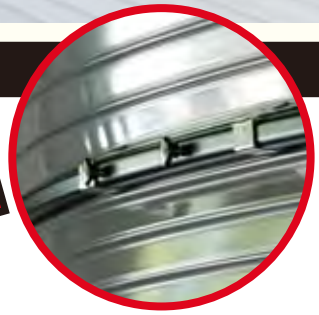
風災害 盗難 から 大切な財産を守るシャッターガード

〉〉〉シャッターがこうなる前に

台風・強風などで、この写真のようになってしまったシャッターを見かけたことや、被害にあった経験はありませんか?

〉〉〉耐風圧実験

こんなになるまで耐えています。



シャッターが変形するほどの風圧の中、
シャッターの崩壊を防御するシャッターガード。

〉〉〉設置方法

※設置作業する場合は軍手等を使用し手をケガしないようお気をつけください。
※ホルダーを取付ける際、本体ならびにシャッターにキズが付くことがあります。

1 設置する高さ*1を決めます。

2 片方を隙間（スラットとガイドレールの間）に差し込みます。

3 もう片方を伸ばして反対側の隙間に差し込みます。

4 シャッターガードホルダーを2箇所にセット*3します。

5 ストッパノブを2箇所しめて固定します。

*1●設置可能寸法は間口2～3mで、高さ2mまでのシャッターの場合、シャッターガードを1本設置（床面より100cm程度・全高の約半分の高さ）してください。●高さ2m以上のシャッターの場合は、シャッターの全高を約3分割する程度にシャッターガードを2本設置してください。●ご使用のシャッターが、複数枚をガイドレールでつなげて設置の場合は、シャッターガードをシャッターの枚数分の本数、同じ高さに設置してください。 *2●シャッターガードを防犯用にご使用の場合は、アンカーの汚れを十分に拭き取ってから、付属の「防犯用シール」を両端のアンカーに貼り付けてください。●貼り付ける際は、写真のようにアンカーの背面から貼り始めてください。●隙間（スラットとガイドレールの間）とアンカーがガタつく場合は、そのガタつき具合に応じて、二重に張り付けてください。●二重に張り付ける必要がある場合は、1枚づつ調整しながら貼り進めてください。 *3●全体の設置の長さを3等分する間隔で、アウター側の本体にセットします。●シャッターのスラット部の上下にツメを引っ掛けるようにセットします。

お問合せ／販売店

SHIMIZU 清水株式會社

主要仕様

本体	寸法	インナー部	長さ	1,820mm
			高さ	46.2mm（シャッター垂直方向）
			幅	36.7mm（シャッター接触側）
		アウター部	長さ	1,852mm
			高さ	53.0mm（シャッター垂直方向）
			幅	42.0mm（シャッター接触側）
	素材	インナー部		アルミ合金押出形材
		アウター部		アルミ合金押出形材
		アンカー部		ABS樹脂
ノブ	T字ノブボルト			
ホルダー	素材	鋼板		
製品	収縮・伸長長さ	2,000～3,000mm		
	総重量	2,640g		

●特許第3912794号 ●国際公開番号WO 2007/138788 ●日本製
※上記以外の寸法仕様に関してもご相談に応じます。

アンカー　インナー　ノブ　アウター

シャッターガードホルダー（付属品）

シャッターを押す力だけでなく外から引張る力にも付属のホルダーで防御します。
●特許第4092715号

【取付方法】
①全体の設置の長さを３等分する間隔で、アウター側の本体にセットします。
②本体を少し持ち上げて、スラット下部にホルダー下側のツメを引っ掛けます。
③スラット上部にホルダー上側のツメを引っ掛けるように取付けます。
※取付作業する場合は軍手等を使用し手をケガしないようお気をつけください。
※ホルダーを取付ける際、本体ならびにシャッターにキズが付くことがあります。

強　度　strength

■シャッターガード
耐曲げ性能:3.2kN以上
耐風圧試験:800Pa（風速45m/s）
■シャッターガードホルダー
耐引張性能:2.5kN以上
試験分析:鳥取県産業技術センター　電子・有機素材研究所
（財）日本建築総合試験所 試験研究センター

カラーバリエーション　color variation

ブラック（受注生産）　シルバー　ホワイト

設置例　example

※シャッターガード以下SG

左：１枚のシャッターにSG1本設置
中：高さのあるシャッター１枚にSG2本設置
（高さを約３分割）
右：複数枚のシャッターにSG各１本設置
（同じ高さ）

特に強風地域においてはシャッター１枚当たりに対するシャッターガードの本数の増設をおすすめします。

風速について

●風速は、10分間の平均風速です。風の吹き方は、たえず強弱の変動があり、突風の瞬間風速は平均風速の2倍以上になることがあります。　参考:気象庁「風向と風速のあらわし方」
●風速は、地形や周囲の建物などに大きく影響されます。
●風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。

〔ご利用に際して〕

⚠ 注　意　ご使用の際は、取扱説明書などをよくお読みの上、正しくご使用ください。

■シャッターガードは手動式軽量シャッターへの使用を目的としています。アルミ製シャッター・電動シャッター・一部防風型軽量シャッターへの使用は不可とします。■シャッターガードを設置する際は、シャッターをしっかり床面まで降ろし、隙間なく閉めてから設置してください。■シャッターガードを設置する際は、必ずシャッターのロックと中柱のロックをかけてご使用ください。■シャッターガードを設置する際は、シャッターの隙間（スラットとガイドレールの間）にアンカー部をきちんと奥まで差し込み、十分に伸ばしてご使用ください。■ノブは最後までしめて、本体のアウターとインナーが動かないようにしっかり固定してください。■シャッターガードをシャッターの上部に設置する際は、足場をしっかり確保してから作業をしてください。転落や負傷につながります。■各シャッターメーカーの強化中柱に交換することにより、より強い風圧に対応できます。

■シャッターガードはシャッターを防御する目的以外にご使用にならないでください。■シャッターガードを改造しないでください。事故、故障の原因になります。■シャッターガードの上に乗ったり、重量物を乗せないでください。変形および故障の原因になります。■操作・収納時において、手・指のはさみ込みにご注意ください。また、ご使用時には、周りの人・物などに本体が衝突しないよう、確かめてからご使用ください。■シャッターガードを移動する際はノブを必ずしめて、インナーが伸びたり外れたりして落下等しないようにご注意ください。■シャッターガードを収納する際は、本体を収縮し、必ずノブをしめてください。■立てかけ時は、本体転倒による身体、物などへの衝突に充分注意し、本体を収縮してから収納し、容易に転倒しないようにご注意ください。■シャッターガードは強風が通り過ぎ、天候がおちついたら、はずしてください。シャッターの開閉をスムーズにするため、1ヶ月以上設置したまま放置しないでください。

製品に関して新品の状態で不具合があった場合、お買上げの販売店までご連絡ください。確認の上、新品と交換いたします。

■製品の色は、印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。■製品の仕様及びデザインは改善のため、予告なしに変更する場合があります。■実際の製品には、使用上のご注意を表示してあるものがあります。

お問合せ／販売店

清水株式會社

この資料の掲載内容は、2008年3月現在のものです。

沢田防災技研では、環境に配慮した製品づくりに取組んでいます。

■製品開発から廃棄・再資源化までを想定し、環境に配慮した製品づくりをめざしています。■製品生産については、過度の数量を生産しないことに心がけ、長く使うための高耐久性、メンテナンス性の向上に配慮します。■材料については、有害物質を発生させない製品材料を選び、特定の環境負荷物質を使用しません。

製造元

株式会社 沢田防災技研
〒689-1112 鳥取市若葉台南7丁目1-1　鳥取県産業技術センター内
TEL 0857-37-8108　FAX 0857-37-8120　http://www.sawada-guard.com